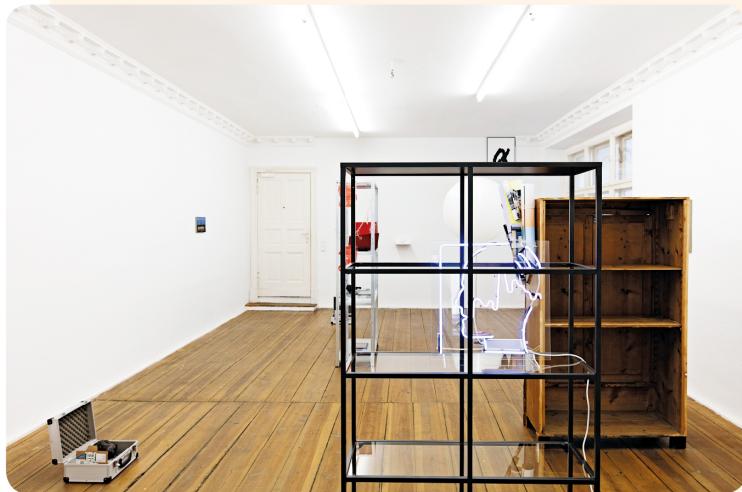




2点とも、ヴァルフガング・ティルマンスのプロジェクトスペース、Between Bridgesで2018年3月に行われたBPA参加者たちによるグループ展の展示風景



低額であるため、海外からも学生が集まる。しかし大学卒業後、アーティストとしての道を進むことはやっくさい。このギャップを埋めるべく、BPA（アーティストのためのベルリン・プログラム）が立ち上げられた。ベルリンを拠点に活動する経験豊富なアーティストが、芸術大学卒業後間もない若手のスタジオを訪れ、一対一で彼らの仕事を見て話し合ったり、逆に若手たちを自らのスタジオに招いて自身の制作の実践について話したり、一般公開の展示を行つたりと、アーティスト養成所のような役割を担つてゐる。

指導者はヴァルフガング・ティルマンスやアンジェラ・ブロック、サイモン・デニー、サーダン・アフィフなど、第一線で活躍する作家ばかりだ。彼らの専門分野が異なり、スタジオ訪問にもそれぞれのスタイルがあるため、参加者にとって多様な体験となる。キュレーターやプレス、マーケットからの

BPA Berlin program for artists

アーティストのためのベルリン・プログラム

ベルリンを拠点に活動する著名で経験豊かな作家たちが、芸術大学卒業後間もない若手作家のスタジオを訪ねて指導と交流を行う無償のプログラム。2016年に始まり、1年単位で公募によりアーティストを目指す10人前後の参加者が選考される。



ドイツ GERMANY

ドイツ

lab.Bode

ラボ・ボーデ

ベルリンのボーデ美術館による美術教育を強化するイニシアチブ。2016年から4年間、ドイツ連邦政府文化財団から560万ユーロ（約7億2000万円）の資金を得て国内の美術館やベルリンの9つの学校と共に実験的なプログラムが行われる。

ベルリンの異なる地区にある9つの小中学校との協力関係のもと、生徒と教師とともに、4年をかけて様々な方法で美術教育へアプローチし、美術館と学校が永続的なパートナーシップを結ぶ方法を探る。ボーデ美術館内にはいつでもアクセスできるLab.Bodeの3つの部屋も開設。プロジェクトを可視化し、訪れる人たちが、そこで活動を学び、感想を残し、美術館のコレクションや教育に関する問題をリサーチすることもできる。

生徒たちのワークショップや、教育に関する現在のアプローチ、理論や展望について専門家と意見交換を図るためのディスカッショーン・プログラムも定期的に行われる。



上——小学5年生を対象としたワークショップの様子。テーマは「人物画—昔と今」
© SMB / Julianne Eirich, 2018
下——中学生を対象としたワークショップ「セクスについて話そう！」の様子。小さなグループで行わられる芸術を通した性教育
© SMB / Ute Klein, 2018

美

術館にいまもつとも必要なのは、青少年の存在だ。ベルリンのボーデ美術館の館長がその社会的立場を思索し、2016年に美術教育のための実験的なプラットフォームとして始動したのが「Lab.Bode」。

ベルリンの異なる地区にある9つの小中学校との協力関係のもと、生徒と教師とともに、4年をかけて様々な方法で美術教育へアプローチし、美術館と学校が永続的なパートナーシップを結ぶ方法を探る。ボーデ美術館内にはいつでもアクセスできるLab.Bodeの3つの部屋も開設。プロジェクトを可視化し、訪れる人たちが、そこで活動を学び、感想を残し、美術館のコレクションや教育に関する問題をリサーチすることもできる。

生徒たちのワークショップや、教育に関する現在のアプローチ、理論や展望について専門家と意見交換を図るためのディスカッショーン・プログラムも定期的に行われる。

ベルリンの異なる地区にある9つの小中学校との協力関係のもと、生徒と教師とともに、4年をかけて様々な方法で美術教育へアプローチし、美術館と学校が永続的なパートナーシップを結ぶ方法を探る。ボーデ美術館内にはいつでもアクセスできるLab.Bodeの3つの部屋も開設。プロジェクトを可視化し、訪れる人たちが、そこで活動を学び、感想を残し、美術館のコレクションや教育に関する問題をリサーチすることもできる。

生徒たちのワークショップや、教育に関する現在のアプローチ、理論や展望について専門家と意見交換を図るためのディスカッショーン・プログラムも定期的に行われる。

要求への対応、公の場での自作についての話し方制作のためのプロダクション設備はどこがいいのかなど、プロフェッショナルとしての実践を確立しようとする若い作家たちから指導者への質問のかには、実用的なものもあるようだ。自分たちの仕事／作品に関する幅広い知識やアイデアを得ると同時に彼らの制作の焦点も絞られていくという。非常に直接的で実践的、そして個人的なアプローチでもあるBPAは、1年間のプログラムを終えた後も、その価値と関係が続いていくような、同窓生のネットワークとしてのプロフェッショナルな支援システムもつくりたいと考えている。

子供と教師が学校単位で参画する美術館主導の美術教育への取り組みから、アーティストを志す者たちへの懇意なプログラムまで、ドイツではあらゆる角度からの新しいアートの実践が、絶えず行われている。生徒たちが招かれるワーキングであるヌード彫刻と対峙し、ジエンダーや身体、セクシュアリティの多様な表現について考えるながら性について学ぶ課外活動もある。

さらに、国内の美術館から研修者を募り、参加者はボーデ美術館と学校のプロジェクトについて研修し、それぞれが所属する施設でまた独自のプロジェクトを開拓することができる。このような包括的な訓練プログラムにおける専門家同士のネットワークの構築も、国内全体の美術教育の現場を活性化させる。Lab.Bodeで開発されたプロジェクトやコンセプト、およびソッドは、デジタルのモジュール方式のシステムに要約され、美術館や文化教育の指導者たちが将来的に広く利用できるようになる予定だ。

また、ドイツには優れた芸術大学が多く、授業料も無料もしくは学費が多くの授業料も無料もしくは